

南国市障害者計画策定に向けて②

前回でお知らせしたとおり2月から南国市における障害者計画策定に向けての取り組みがスタートしました。

基本方針は、関係者および市の幹部職員などで構成する策定委員会(22人・委員長は助役)で立案し、その下に関係当事者および関係職員で構成する作業部会(22人)を設置して具体化に向けての作業を進めて行くことになりました。また、計画に当事者の意見を反映するためにアンケートを実施します。

作業部会は月1回のペースで開催し、重要な問題などが発生した場合は策定委員会にはかり指示を求めます。

このような作業を経て、基本計画を立案します。そして基本計画ができあがった時点で市民の皆さんを対象にしたシンポジウムを開催し、ここで出された意見・要望などをさらに計画に反映させます。こうした一連の作業を行い秋までには南国市障害者計画

を策定したいと考えています。障害者計画の基本理念は「ノーマライゼーション」と「リハビリテーション」であるといわれています。これは障害がある人が障害のない人と対等に生活する社会とそのための人権回復の取り組みの実現にあります。

2月26日に開催した第1回の策定委員会の席上、1人の委員から「障害がある子の親同士がいつでも話し合える場がほしい」との意見が出されました。このような意見や要望に対し我々は真摯な対応を取らなければなりません。従来とすれば「...そのように努力します」式の対応で済ませてきた点を改め、障害者計画では具体的な数値目標の設定が求められています。

今回は4月15日に開催された作業部会の内容を中心に報告します。

※問い合わせは、福祉事務所 社会係(☎6566)まで。

人権・主人公は私たちひとりひとり⑤ 同和教育シリーズ

アダムズさんに聞く

今回は、香長中学校の外国語指導助手(A.L.T.)として勤務されているアンドリュー・アダムズさんにお話を聞きました。

Q 人権について、どんなイメージを持っていますか。

A 人権は、地球上のすべての人が、生まれながらもっているものだと思います。しかし、残念なことですが、人権が十分に保障されていない人がたくさんいます。

A 人種問題、同性愛者への差別問題などがあります。女性差別は次第に少なくなってきました。人種差別は今も根強いですね。ハリウッド映画をみると黒人が大活躍しているのに、差別はなくなってきたように思われるかもしれませんが、たとえば、行政機関など高学



小学で授業を行うアダムズさん

歴に必要な職業に白人が多い。ダンスパーティーなどの集まりに白人種だけで集まろうとする、日常生活でも白人以外の人に対し差別的な言葉や態度をとるなど、多くの問題があります。

Q 水泳選手に黒人がほとんどいないのはなぜですか。以前に白人は黒人と同じプールで泳がなかったと聞きました。

A 現在でもいっしょに泳いでいる場面をあまり見ませんが、黒人や貧しい人びとの住む地区の学校にプールがあまり整備されていないことも選手がいない大きな原因だと思っています。Q 学校で人権の学習をしましたか。

A 小学校の社会科では保健の時間に同性愛者への差別問題を勉強しました。人権問題の学習では直接差別を体験した人の話を聞きました。このように具体的に学んだことは印象に残っています。

- 防務保護係長 島崎野(福祉事務所係長)
▼福祉事務所庶務係長 岡田泰光(税務課主幹)
▼社会教育課文化財係長 橋田和典(社会教育課主幹)
▼南国市土地開発公社業務係長 沢田一彦(民生課係長)

保育

- ▼長岡西部保育所長 西岡さゆり(長岡西部保育所主幹)
▼国府保育所長 谷田陽子(長岡東部保育所主幹)
▼久礼田保育所長 山崎桃代(長岡西部保育所長)
▼十市保育所長 土居長子(大橋保育所長)
▼あけぼの保育所長 久武玲子(久礼田保育所長)
▼大橋保育所長 河崎昭子(里保育所長)
▼里保育所長 中沢弘子(あけぼの保育所長)

消防

- ▼副署長 前田賢夫(副署長兼第一消防係長兼隊長)
▼警防課警防係長 武市豊(予防課予防係主任)
▼第2消防係長 岡林則雄(第2救助隊隊長)
▼北部出張所第2消防係長 徳橋広満(北部出張所)

- 振新副署長兼副隊長
▼北部出張所第1消防係長 和泉恒寛(第1救助隊隊長)
▼第1消防係長兼隊長 徳久哲夫(第2消防係長兼隊長)
(掲載は係長相当職以上)

新規採用者(4月1日付け)

- ▼徳平拓一郎(税務課)
▼松岡範晃(税務課)
▼谷田達哉(保健課)
▼須藤知成(社会教育課)
▼上原邦曜(国体推進室)
▼村田知子(保健課)
▼小笠原久美(保健課)
▼土居正子(大橋保育所)

退職者(3月31日付け)

- ▼岡田舜一(水道局)
▼窪田都好(議会事務局)
▼十河清香(福祉事務所)
▼松本富士子(保健課)
▼植野祐子(保健課)
▼池上幸美(福祉事務所)
▼山本三四子(岡豊小学校)
▼福岡サチ子(長岡小学校)
▼西岡好子(十市小学校)
▼川添よし(福生小学校)
▼溝淵民(十市保育所)
▼伊藤誠子(国府保育所)
▼島内美枝(長岡西部保育所)

情報公開制度・個人情報保護制度 利用状況をお知らせします

◎情報公開制度
平成10年度の利用状況は、条例に基づく公開請求が2件で、その内訳は、下の表のとおりです。請求のあったもののうち一部公開としたのは1件で、平成8年度の各種団体への補助金などの明細について、納税貯蓄組合補助金を除き、公開としました。また、地方税法第22条の秘密漏えい禁止の義務があるため、非公開としました。不服申し立てはありませんでした。

●平成10年度行政情報公開条例の公開請求と処理状況(件)

Table with 4 columns: 公開請求・申し出件数, 処理(決定)状況, 公開, 一部公開, 非公開, 非受理, 取り下げ, 不服申し立て

◎個人情報保護制度
平成10年度は、開示請求・訂正請求・適正処理の申し出および苦情・相談はありませんでした。

※問い合わせは、総務課総務係(☎6551)まで

Q 日本人の人権意識についてどう思われますか。
A 法的には少しずつ人権保障が進んでいるようですが、他の国々より高くないように思います。日本で生活して、まず気づいたのが女性差別です。たとえば、酒席で男性が女性に失礼なことをした時、酔っていたという事で許されてしまいます。逆に女性が何かすると周りから非難され

ますね。何事も女性に厳しく男性に寛容ですね。それから日本では差別は昔からあったので仕方がないとされやすいですね。それは差別が文化に深く根ざしていることを示しています。文化を変えていくことは時間がかかるでしょうが、変える努力がなければ差別はなくならないと思います。
編集責任 人権啓発広報委員